

# 進路だよい 2025

第 24 号

2025年 11月 21日( 金 )

沖縄県立真和志高等学校

進路指導部

3年生へ集計を取り、専門学校へ進学希望する人の年間タイムラインを作成しました。また、統計の結果、夏休みまでにオープンキャンパスを済ませる。9月上旬には願書提出をする(or 準備)をしておかないと専門学校へ進学するとしたら遅い行動であると、"活動のデッドライン(=メ切)"を教えてくれました~!!



## 専門学校進学

- 6月まではオーキャンへ参加して進路を迷っていた  
→ 7月総合型エントリー（7月中旬にエントリーで学費減）→9月願書提出（9月中旬に提出で学費減）  
→ 10月合格通知→特待生面接実施。
- 合格後は、お金のことを考えている期間が長かった。  
手続きに不備がなかったか？など。  
9月下旬に合格→10月に入学金支払い→2週間ほど  
1～3回事前学習→以降バイトでお金を稼ぐ
- 通知が届かず不安だった。学校側にいつまでに届くかきちんと確認する。
- 通知受取後、1週間以内に入学金の支払い。
- この時期少ないので、進路が決められなかつたので、とりあえず数えきれないくらいオーキャンへ参加。

## 進路決まらない人

12月以降

## ★進路決定

### 進路へ提出を

10～11月

### 合格し始めが 8割の生徒が

夏休み

9～10月

4～7月

3年生へ進級

2年生

- 合格通知が届いてから、入学金の支払いを親と確認する。その後、進路室へ合格通知を提出した。  
合格体験記を書いて、後輩へアドバイスを残した。

- 自宅から専門学校まで、バスで通っていると不便だと気がついたので、自動車教習所に通いはじめた。ついでにバイトも。

- まだ進路決まっていない人が、専門学校希望した生徒の1/10くらいだと聞いた。学費減免などの制度がない、一般入試へ挑むことになってしまった。

- 夏休みを利用してオーキャンへ4回参加。
- 特待生（学費がほとんど免除になる制度）面接は、8月から対策開始、10月に面接実施。

- 進路決定（6月）→オーキャンにてエントリー（7月初旬）  
→面接（7月中旬）→総合型合格書→本出願提出（9月初旬）  
→合格通知（9月）の流れでした。
- オーキャン参加（6～7月）→親に反対され進路変更（8月）  
→再度オーキャン参加、即面接（9月中旬）→合格（9月下旬）

- 行きたい学校の口コミと卒業後の就職実績のリサーチを始めた。その後に、オープンキャンパスへ申し込み、調べた内容と合っているのか質問したりしていた。
- 卒業後、何ができるかを考えて進路を決めた。 ○ 体験授業に参加し進路を決定。
- 昔好きだったことと、今得意なことを思い出して進路を決めた。
- 進学先の授業内容や、自宅から通える距離か？自分が楽しめそうな学科か？似た内容を学ぶことができる専門学校なら、学費の比較。試験内容の確認などをしていた。

- 自分が興味あるもの、そうでないもの半々で学校を調べた。大学志望だったが、進路相談会に参加して専門学校にも目をつけた。
- 専門学校へ進学したいと、親とお金（入学金や学費、生活費）の話を初めてやった。
- 色々な学校のHPを見ていた。 ○ 進学先を県内か県外かで迷いながら、3年なる前に決めた。
- 県外へ進学するなら、4月からアパートを探さないと学校に近いところ＆安いところは埋まるとして聞いて、2年のうちに県外への進学先を確定させていた。